Cisco UCS Server Diagnostics Utility ユーザ ガイド、リリース 7.1

最終更新：2025 年 1 月 21 日

シスコシステムズ合同会社
〒107-6227 東京都港区赤坂9-7-1 ミッドタウン・タワー
http://www.cisco.com/jp
お問い合わせ先：シスコ コンタクトセンター
0120-092-255 （フリーコール、携帯・PHS含む）
電話受付時間：平日 10:00～12:00、13:00～17:00
http://www.cisco.com/jp/go/contactcenter/

© 2024 Cisco Systems, Inc. All rights reserved.

目 次

第 1 章 **Cisco UCS Server Diagnostic Utility の概要** 1

はじめに 1

サポートされるプラットフォーム 1

ハードウェア要件 1

第 2 章 **Cisco UCS SDU の起動** 3

cisco.com から ISO イメージを取得する 3

仮想メディアを使用した Cisco UCS SDU の起動 4

KVM コンソールについて 4

KVM コンソールの開始 4

仮想 KVM コンソールからの Cisco UCS SDU の起動 5

物理メディアを使用した Cisco UCS SDU の起動 6

Cisco UCS SDU の終了 6

第 3 章 **Cisco UCS SDU のユーザー インターフェイスについて** 7

ライセンス契約 7

[ナビゲーション（Navigation）] ペインと [作業（Work）] ペイン 8

ツールバー 11

第 4 章 **サーバーの正常性とインベントリの詳細の表示** 13

正常性のサマリーの表示 13

全般的な詳細の表示 15

CPU の詳細の表示 16

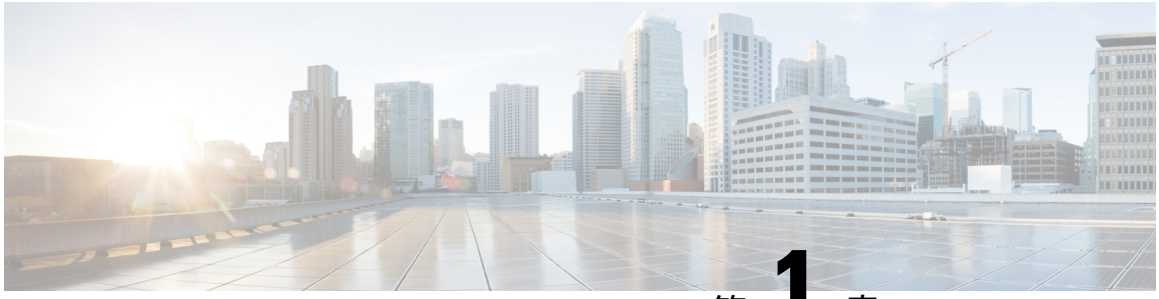
メモリの詳細の表示 17

PCI の詳細の表示 18
ネットワークの詳細の表示 19
グラフィックスの詳細の表示 20
ストレージの詳細の表示 20
電源の詳細の表示 25

第 5 章 サーバーの診断方法 27
クイック診断テストの実行 27
総合診断テストの実行 30

第 6 章 診断タスクの詳細の表示 35

第 7 章 ログ 39
システム イベント ログの表示 39



第 1 章

Cisco UCS Server Diagnostic Utility の概要

この章は、次の内容で構成されています。

- はじめに （1 ページ）
- サポートされるプラットフォーム （1 ページ）
- ハードウェア要件 （1 ページ）

はじめに

Cisco UCS Server Diagnostics Utility（**Cisco UCS SDU**）を使用すると、ユーザーはさまざまなサーバーコンポーネントでインタラクティブなオフライン診断を実行して、Cisco UCS B シリーズ、C シリーズ、S シリーズ、および X シリーズ サーバーの正常性ステータスを確認できます。診断テストでコンポーネントに問題があることが特定された場合、Cisco UCS SDU は、コンポーネントの正常性を改善するために取ることができる解決策として、推奨されるアクション項目も提供します。

サポートされるプラットフォーム

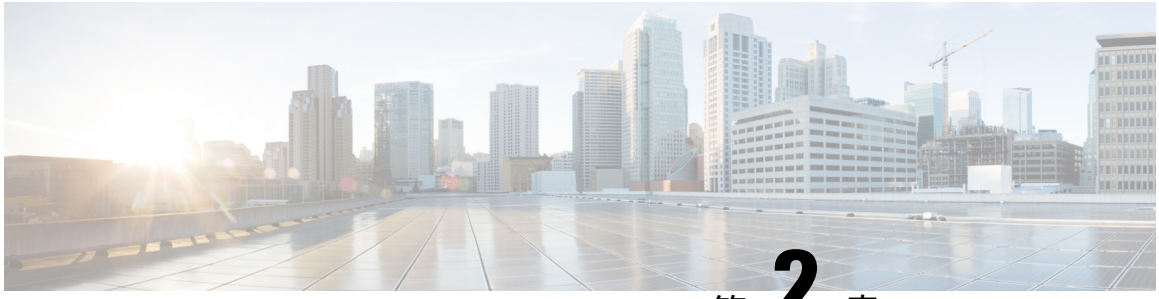
特定のリリースでサポートされている Cisco UCS サーバーを確認するには、関連する Cisco UCS Server Diagnostic Utilities のリリース ノートを参照してください。

ハードウェア要件

次に、Cisco UCS SDU の最低ハードウェア要件を示します。

- CD-ROM ドライブ：Cisco UCS SDU を起動し、実行するためには、USB CD/DVD-ROM ドライブが必要です。Cisco UCS SDU を起動するために、CIMC KVM で仮想メディア オプションを使用することもできます。
- マウス：一部の機能では、ナビゲーション用に標準マウス（PS/2 または USB）が必要です。

- RAM：最低 4 GB の RAM が必要です。使用可能な RAM が最低推奨値未満の場合は、診断ユーティリティが期待どおりに動作しないことがあります。



第 2 章

Cisco UCS SDU の起動

この章は、次の内容で構成されています。

- cisco.com から ISO イメージを取得する （3 ページ）
- 仮想メディアを使用した Cisco UCS SDU の起動 （4 ページ）
- 物理メディアを使用した Cisco UCS SDU の起動 （6 ページ）
- Cisco UCS SDU の終了 （6 ページ）

cisco.com から ISO イメージを取得する

サーバーに必要な ISOファイルを検索してダウンロードするには、次の手順を実行します。

手順

ステップ 1 **software.cisco.com** に移動し、**[ダウンロードへのアクセス（Access downloads）]** を選択します。

ステップ 2 **[ソフトウェアのダウンロード（Software Download）]** ページで、**[製品の選択（Select a Product）]** エリアの **[すべて参照（Browse all）]** をクリックします。

ステップ 3 **[Servers - Unified Computing]** を選択します。

ステップ 4 右側に表示されるリストからサーバーのタイプを選択します。

ステップ 5 右側に表示される結果からサーバーのモデルを選択します。

ステップ 6 **[ソフトウェアのタイプを選択（Select a Software Type）]** リストで、**[Unified Computing System（UCS）Diagnostics]** を選択します。

[ソフトウェアのダウンロード（Software Download）] ページの左側には、さまざまなリリースが表示されます。

ステップ 7 必要なリリースを選択します。
ファイル情報、 **リリース日**、 **サイズ** などの情報は、次の ISO ファイルの右側に表示されます。

- Diagnostics for the Unified Computing System (UCS) Servers
- UEFI Diagnostics for the Unified Computing System (UCS) Servers

ステップ 8 それぞれの ISO ファイルに関連付けられている **[ダウンロード（Download）]** アイコンをクリックします。

ステップ 9 **[Cisco の一般契約条件（Cisco's General Terms Agreement）]** ダイアログ ボックスで、**[Cisco の一般契約条件に同意する（Accept Cisco General Terms）]** をクリックします。
ISO ファイルは、デフォルトのダウンロード場所にダウンロードされます。

仮想メディアを使用した Cisco UCS SDU の起動

KVM コンソールについて

KVM コンソールは Cisco IMC からアクセス可能なインターフェイスであり、サーバへのキーボード、ビデオ、マウス（KVM）の直接接続をエミュレートします。KVM コンソールを使用すると、リモートの場所からサーバに接続できます。

KVM コンソールには次のタブがあります。

- [KVM]：このタブには、アプリケーションの起動時に Cisco UCS SDU アプリケーションが表示されます。
- [Virtual Media]：このタブでは、仮想ドライブに次のものを対応付けることができます。
  - コンピュータまたはネットワーク上の CD/DVD
  - コンピュータまたはネットワーク上のディスク イメージ ファイル（ISO または IMG ファイル）

KVM コンソールの開始

仮想 KVM コンソールを開始するには、次の手順を実行します。

手順

ステップ 1 Cisco IMC にログインします。

ステップ 2 対応する KVM コンソールを起動するサーバ ノードを選択します。

ステップ 3 **[vKVM の起動（Launch vKVM）]** をクリックします。

仮想 KVM コンソールにサーバー コンソールが表示されます。

仮想 KVM コンソールからの Cisco UCS SDU の起動

仮想 KVM コンソールを使用して Cisco UCS SDU アプリケーションを起動するには、次の手順を実行します。

始める前に

software.cisco.com から ISO イメージ ファイルをダウンロードします。イメージをダウンロードする方法については、cisco.com から ISO イメージを取得する （3 ページ） を参照してください。

手順

ステップ 1 Cisco IMC にログインします。

ステップ 2 **[vKVM を起動（Launch vKVM）]** をクリックして、仮想 KVM コンソールを起動します。

ステップ 3 [Virtual Media] タブをクリックします。

[Virtual Media] タブが開きます。

ステップ 4 [仮想デバイスの有効化（Activate Virtual Devices）]をクリックします。

セッションが開始され、接続されていることを示すメッセージとともにダイアログ ボックスが表示されます。

ステップ 5 [CD/DVD のマッピング (Map CD/DVD)] をクリックし、ISO ファイルを参照します。

ステップ 6 [Map Device] をクリックします。

ステップ 7 [Client View] セクションで、追加した ISO ファイルに対応する [Mapped] カラムのチェックボックスを選択して、マッピングが完了するのを待ちます。

仮想 KVM コンソールの [詳細（Details）] セクションに進行状況が表示されます。

ステップ 8 Cisco IMC で **[サーバーの電源サイクル（Power Cycle Server）]** をクリックしてサーバーをリブートします。

ステップ 9 サーバーが起動したら、**F6** キーを押してブート デバイスを選択します。

ブート選択メニューが表示されます。

ステップ 10 [Cisco 仮想 CD/DVD (Cisco Virtual CD/DVD)]を選択するには、矢印キーを使用し、**Enter** キーを押します。

サーバーは、**Diagnostics for the Unified Computing System (UCS) C-Series Servers** または **UEFI Diagnostics for the Unified Computing System (UCS) C-Series Servers** イメージを使用して起動し、[KVM] タブでアプリケーションを起動します。

物理メディアを使用した Cisco UCS SDU の起動

物理 CD/DVD を使用してサーバー上で Cisco UCS SDU アプリケーションを起動するには、次の手順を実行します。

始める前に

- cisco.com から イメージ ファイルをダウンロードします。イメージをダウンロードする方法については、次を参照してください。 cisco.com から ISO イメージを取得する （3 ページ）
- .iso CD を書き込むアプリケーションを使用して .iso CD 作成します。

手順

ステップ 1 USB ポート経由でサーバーに USB DVD ドライブを接続します。

ステップ 2 DVD ドライブに物理メディアを挿入します。

ステップ 3 サーバを再起動し、**F6** キーを押してブート選択メニューを表示します。ブート デバイスとして **CDROM ドライブ**を選択します。

サーバーは、**Diagnostics for the Unified Computing System (UCS) C-Series Servers** または **UEFI Diagnostics for the Unified Computing System (UCS) C-Series Servers** イメージを使用して起動し、アプリケーションを開始します。

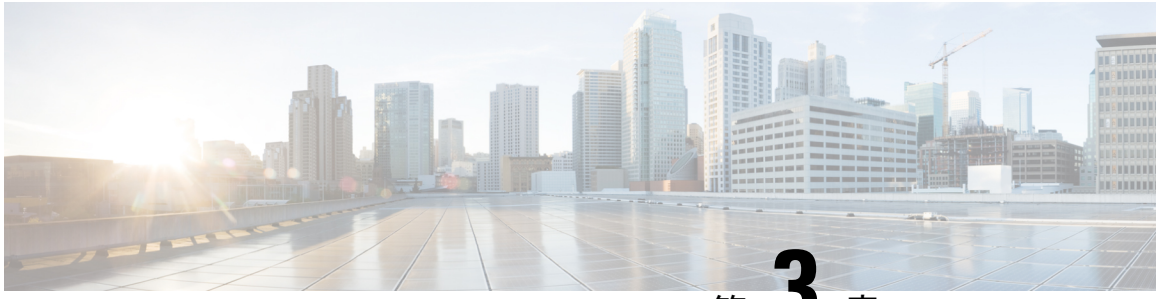
Cisco UCS SDU の終了

Cisco UCS SDU を終了するには、次の手順を実行します。

手順

ステップ 1 ディスク ドライブから .iso ディスクを取り出します。

ステップ 2 **[電源の再投入（Power Cycle）]** ボタンをクリックし、**[電源の再投入（Power Cycle）]** をクリックして、サーバーの再起動を確認します。



第 3 章

Cisco UCS SDU のユーザー インターフェイスについて

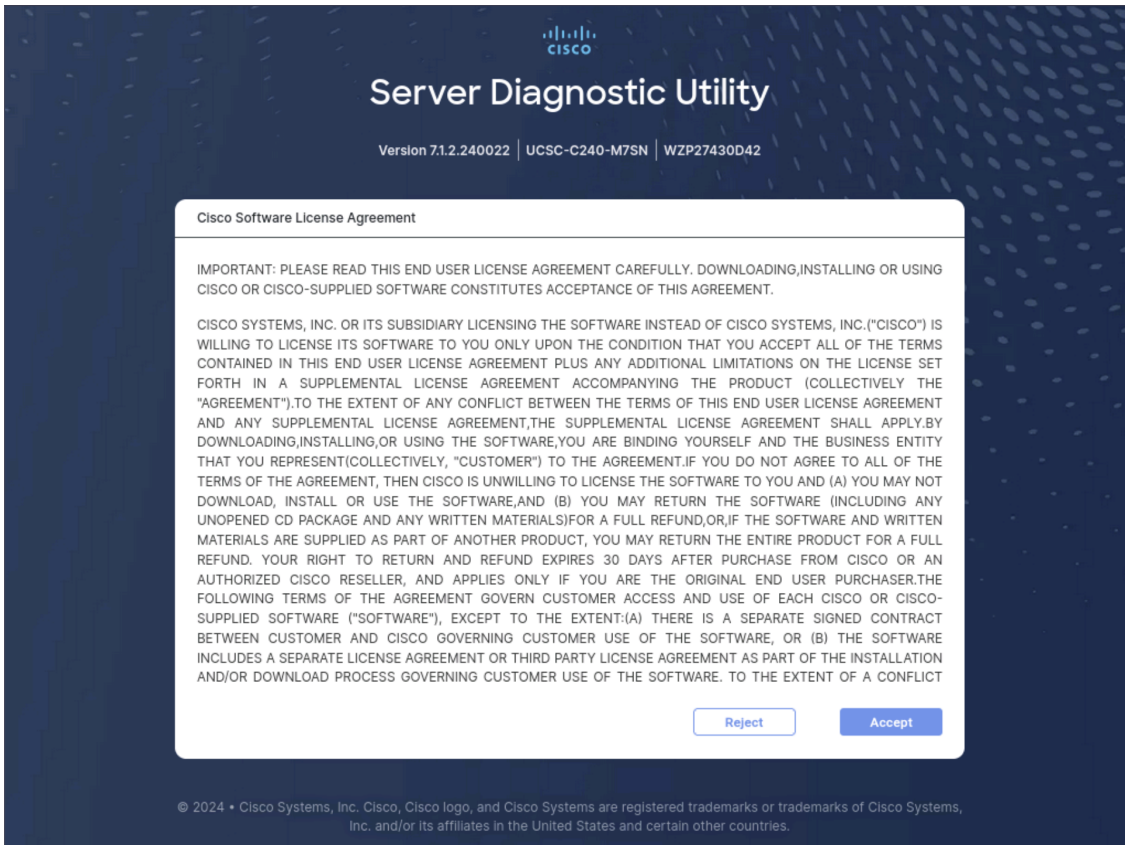
この章は、次の内容で構成されています。

- ライセンス契約 （7 ページ）
- [ナビゲーション（Navigation）] ペインと [作業（Work）] ペイン （8 ページ）
- ツールバー （11 ページ）

ライセンス契約

Cisco UCS SDU が起動すると、**[ようこそ（Welcome）]** 画面が表示され、次に **[エンド ユーザー ライセンス契約（End User License Agreement）]** 画面が表示されます。ライセンスに同意するには、**[同意する（Accept）]** を選択します。

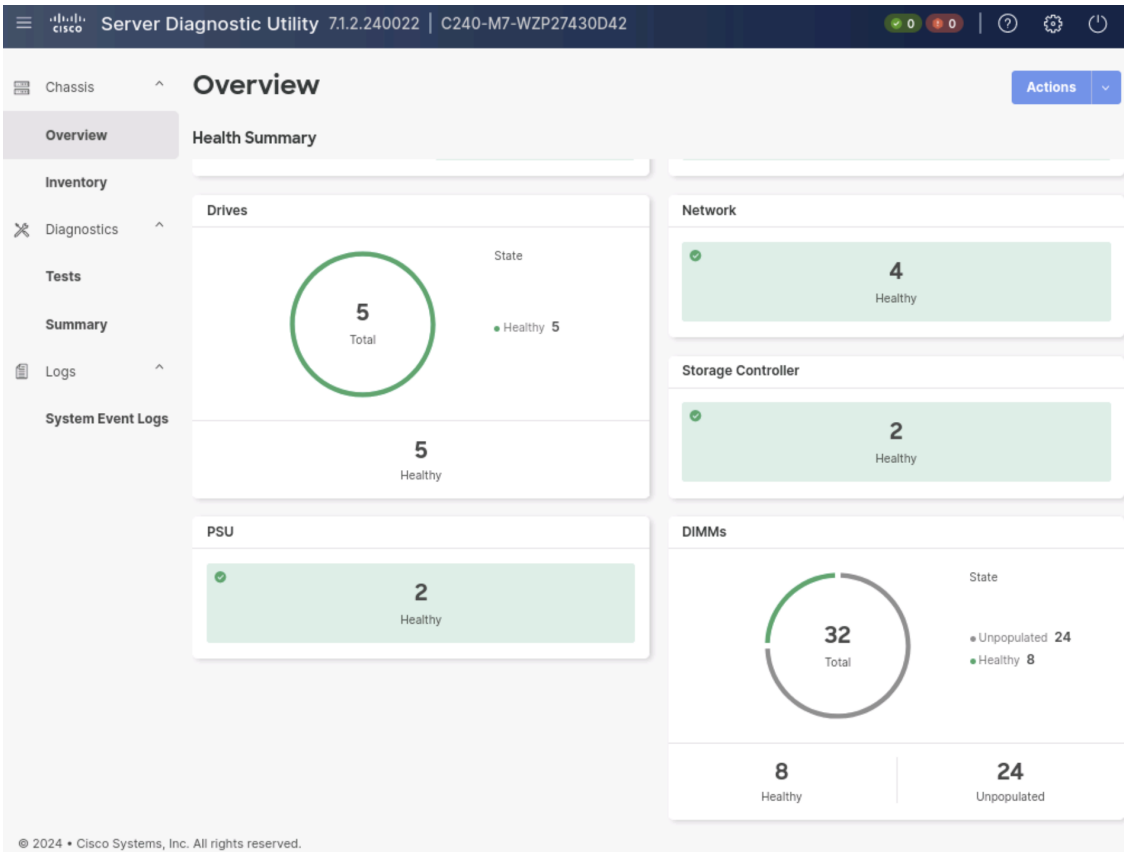
図 *1:* ライセンス契約



[ナビゲーション（Navigation）] ペインと [作業（Work）] ペイン

Cisco UCS SDU GUI は、画面の左側にある [ナビゲーション（Navigation）] ペインと、画面の右側にある [作業（Work）] ペインで構成されます。

図 *2 : Cisco UCS SDU* ホーム ページ



[ナビゲーション（Navigation）] ペインには次のメニューがあります。

- [シャーシ（Chassis）] メニュー
- [診断（Diagnostics）] メニュー
- [ログ（Logs）] メニュー

ナビゲーションペインのメニューをクリックすると、関連するタブが画面の右側に表示されます。

（注） ナビゲーション ペインを折りたたんだり展開したりするには、**ハンバーガー メニュー** アイコンをクリックします。

[Chassis] メニュー

[Chassis] メニュー	[Work] ペイン
概要	サーバー健全性のサマリーを表示します。

[Chassis] メニュー	[Work] ペイン
インベントリ	次のタブがあります： • 一般 • CPU • メモリー • PCI • ネットワーク • Graphics • ストレージ • 電源モジュール

[診断（Diagnostics）] メニュー

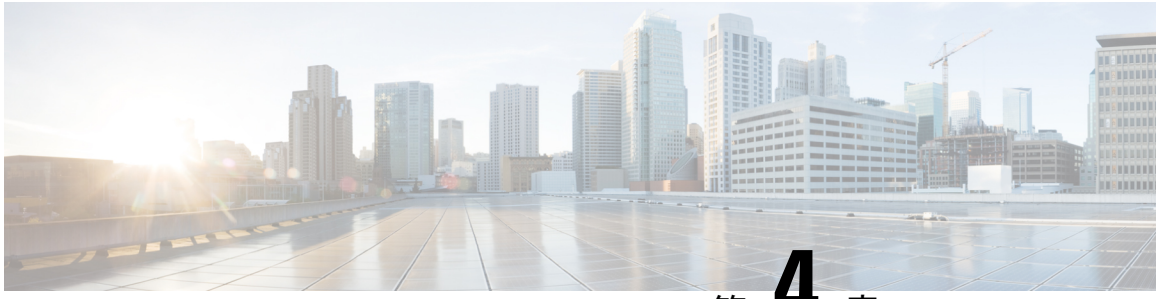
[診断（Diagnostics）] メニュー	[Work] ペイン
テスト	次のタブがあります： • クイック • 包括
要約	さまざまな期間にトリガーされた診断テストの詳細を提供します。

[ログ（Logs）] メニュー

[ログ（Logs）] メニュー	[Work] ペイン
システム イベント ログ	一定期間に発生したさまざまなイベントに関連するログのリストを提供します。

ツールバー

名前	説明
タスクの概要	さまざまなカラーコードで数字を表示します。これは、実行中、合格、不合格、およびキャンセルされた診断テストタスクの数を示します。 • **青**：実行中のタスクの数 • **緑**：合格したテストの数 • **赤**：不合格だったテストの数 • **黄**：キャンセルされたテストの数
[ヘルプ（Help）] アイコン	• **[情報（About）]**：Cisco UCS SDU に関する全体的な情報を表示します。 • **[SDU にようこそ（Meet SDU）]**：Cisco UCS SDU の [ようこそ（Welcome）] 画面を開きます。Cisco UCS SDU GUI のさまざまなコンポーネントの機能について学習するには、**[開始（Let's Go）]** をクリックし、**[次へ（Next）]** ボタンで続行します。
[設定（Settings）] アイコン	**[ユーザー設定（User Preferences）]** ダイアログボックスを起動します。**[ライト（Light）]** テーマまたは **[ダーク（Dark）]** テーマを選択できます。 （注） テーマを選択すると、昼夜の自動切替スイッチは上書きされます。
[電源の再投入（Power Cycle）] アイコン	**[電源の再投入（Power Cycle）]** ダイアログボックスを起動します。 診断テストの完了後にサーバを再起動するには、**[電源の再投入（Power Cycle）]** をクリックします。 （注） まれに、サーバーの電源が複数回投入されることがあります。



第 4 章

サーバーの正常性とインベントリの詳細の表示

この章は、次の内容で構成されています。

- 正常性のサマリーの表示 （13 ページ）
- 全般的な詳細の表示 （15 ページ）
- CPU の詳細の表示 （16 ページ）
- メモリの詳細の表示 （17 ページ）
- PCI の詳細の表示 （18 ページ）
- ネットワークの詳細の表示 （19 ページ）
- グラフィックスの詳細の表示 （20 ページ）
- ストレージの詳細の表示 （20 ページ）
- 電源の詳細の表示 （25 ページ）

正常性のサマリーの表示

[概要（Overview）]ページには、診断テストのオプションが表示され、診断テストが正常に実行された後の各インベントリ コンポーネントの数と正常性ステータスが表示されます。

（注） [正常（Healthy）]、[未入力（Unpopulated）]、[重大（Critical）] などの正常性ステータス エリアをダブルクリックすると、**[インベントリ（Inventory）]** の下に関連する詳細が表示されます。

手順

[シャーシ（Chassis）] > **[概要（Overview）]**に移動します。
次の情報が表示されます。

表 *1 : [*正常性（*Health*）*]* 領域

名前	説明
サーバ	サーバーに関する次の詳細を表示します。 • **[モデル（Model）]**：サーバーのモデル番号 • **[シリアル番号（Serial Number）]**：サーバーのシリアル番号 • **[CIMC ファームウェア バージョン（CIMC Firmware Version）]**：サーバーで実行されている現在の CIMC のバージョン • **[BIOS ファームウェア バージョン（BIOS Firmware Version）]**：サーバーで実行されている現在の BIOS のバージョン
ドライブ	サーバーで使用可能なドライブの総数と、正常なドライブの数を表示します。詳細については、ストレージの詳細の表示を参照してください。
PSU	サーバーで使用されている PSU の総数と、正常な PSU の数を表示します。詳細については、電源の詳細の表示を参照してください。
CPU	サーバーで使用されている CPU の総数と、正常な CPU の数を表示します。詳細については、CPU の詳細の表示を参照してください。
[ネットワーク（Network）]	サーバーで使用されているネットワークカードの総数と、正常なネットワーク カードの数を表示します。詳細については、ネットワークの詳細の表示を参照してください。
ストレージ コントローラ	サーバーで使用されているストレージコントローラの総数と、正常なストレージコントローラの数を表示します。詳細については、ストレージの詳細の表示を参照してください。
DIMM	サーバーで使用可能な DIMM の合計数と、正常で使用されていない DIMM の数を表示します。詳細については、メモリの詳細の表示を参照してください。

名前	説明
[アクション（Actions）] ドロップダウン リスト	次の診断テスト オプションが表示されます。 • **[クイック実行（Run Quick）]**：すべてのコンポーネントのクイック診断テストを実行できます。詳細については、クイック診断テストの実行を参照してください。 • **[総合実行（Run Comprehensive）]**：すべてのコンポーネントの総合診断テストを実行できます。詳細については、総合診断テストの実行を参照してください。

全般的な詳細の表示

[全般（General）] タブには、Cisco UCS SDU が起動されているサーバーの詳細が表示されます。

手順

ステップ 1 **[シャーシ（Chassis）]** > **[インベントリ（Inventory）]**に移動します。

ステップ 2 [全般（**General**）] タブを選択します。
次の情報が表示されます。

表 *2 : [Details]* 領域

名前	説明
[ヘルス（Health）]	サーバーの全体的な正常性ステータスを表示します。
モデル（Model）	サーバーの Cisco PID。
シリアル番号	サーバのシリアル番号。
Firmware Version	サーバーで実行されている現在のファームウェアバージョン。
BIOSのファームウェアバージョン	サーバーで実行されている現在のBIOSバージョン。
シャーシ タイプ	サーバーがマウントされているシャーシのタイプ。
製造元	サーバーのメーカー。

表 *3:* プロパティ領域

名前	説明
サーバー名（Server Name）	サーバー名を指定します。
前面（Front）/上部（Top）/背面（Rear） ボタン	サーバーの正面図、上面図、および背面図を表示します。 （注） 図は説明のみを目的としています。実際のサーバーの外見とは異なる場合があります。
CPU	サーバーの CPU 数。
コア	CPU のコア数。
有効なコア	コア合計のうち、有効になっているコア数。
Threads	CPU が同時に処理できる最大スレッド数。
[PCI Adapters]	サーバーで使用可能な PCIe アダプタ数。
CPU キャパシティ = ソケット数 X 有効化されたコア X 速度(GHz)。	CPU の合計キャパシティ。CPU キャパシティは、ソケット数、有効なコア数、および CPU の速度を掛けて計算されます。
メモリ容量(GiB)	すべての DIMM が完全に機能している場合に、サーバーで使用できるメモリの合計量（ギビバイト単位）。
ストレージ キャパシティ（GiB）	サーバーの合計ストレージキャパシティ（ギビバイト単位）。
ディスク	サーバー内のストレージ ドライブの数。
UUID	サーバーを識別する数字または英数字の文字列。

CPU の詳細の表示

[CPU] タブには、サーバーに取り付けられている CPU の詳細が表示されます。

手順

ステップ 1 **[シャーシ（Chassis）]** > **[インベントリ（Inventory）]**に移動します。

ステップ 2 **[CPU]** タブを選択します。
次の情報が表示されます。

名前	説明
モデル（Model）	CPU のモデル。
[ヘルス（Health）]	全体的な CPU の正常性。
有効化されたコア数	全コアのうち有効化されているものの数。
コア数	CPU のコアの合計数。
スレッド数	CPU が同時に処理できる最大スレッド数。
[最高速度（Max Speed）（MHz）]	CPU の速度（メガヘルツ単位）。
ベンダー	CPU のメーカー。
署名（Signature）	CPU の署名情報。

メモリの詳細の表示

[メモリ（Memory）] タブには、サーバーに取り付けられている DIMM の詳細が表示されます。

手順

ステップ 1 **[シャーシ（Chassis）]** > **[インベントリ（Inventory）]**に移動します。

ステップ 2 **[メモリ（Memory）]** タブを選択します。
次の情報が表示されます。

名前	説明
[Name] カラム	サーバー内の配置に応じた DIMM の名前。
[Status] カラム	特定のスロットの DIMM の有無を表示します。
[Health] カラム	DIMM の全体的な正常性ステータス。
[ロケータ LED（Locator LED）] カラム	DIMM スロットが装着されている場合は、ロケータ LED の情報を表示します。 （注） DIMM スロットが空の場合は適用されません。

名前	説明
[キャパシティ（Capacity）（MiB）] カラム	DIMM のキャパシティ（メビバイト単位）。
[Channel Type] カラム	メモリ モジュールがマザーボードのメモリ コントローラと通信するアーキテクチャのタイプ。
[速度 (MHz) (Speed (MHz))]カラム	DIMM 速度（メガヘルツ単位）。
[製造元（Manufacturer）] カラム	DIMM の製造元。
[Serial Number] カラム	DIMM のシリアル番号。

[Asset Tag] カラム	サーバーのユーザー定義タグ。デフォルトでは、新しいサーバーのアセットタグは**[不明（Unknown）]**として表示されます。
	[アセット タグ（Asset Tag）] フィールドを更新する場合は、次のガイドラインに従ってください。
	• [アセット タグ（Asset Tag）] フィールドの最大文字数は 32 文字です。
	• [アセット タグ（Asset Tag）] には、次の特殊文字を含めることはできません。
	  • &
	  • !

[Part Number] カラム	ベンダーによって割り当てられた DIMM の部品番号。
[Data Width] カラム	メモリ モジュール インターフェイスのビット数。

PCI の詳細の表示

[PCI] タブには、サーバーに取り付けられている PCIe カードの詳細が表示されます。

手順

ステップ 1 **[シャーシ（Chassis）]** > **[インベントリ（Inventory）]**に移動します。

ステップ 2 **[PCI]** タブを選択します。
次の情報が表示されます。

名前	説明
[Name] カラム	PCIe カードの名前。
[スロット（Slot）] カラム	PCIe カードが取り付けられているサーバー スロット。
[ベンダー ID（Vendor ID）] カラム	ベンダーによって割り当てられたアダプタ ID。
[サブ ベンダー ID（Sub Vendor ID）] カラム	ベンダーによって割り当てられたセカンダリ アダプタ ID。
[Device ID] カラム	ベンダーによって割り当てられたデバイス ID。
[Sub Device ID] カラム	ベンダーによって割り当てられてたセカンダリ デバイス ID。
[バス番号（Bus Numbers）] カラム	エンドポイントが接続されている PCIe スイッチを識別するためのバス番号。

ネットワークの詳細の表示

[ネットワーク（Network）] タブには、サーバーに取り付けられているネットワーク アダプタの詳細が表示されます。

手順

ステップ 1 **[シャーシ（Chassis）]** > **[インベントリ（Inventory）]**に移動します。

ステップ 2 **[ネットワーク（Network）]** タブを選択します。
次の情報が表示されます。

名前	説明
[Name] カラム	ネットワーク アダプタの名前。
[Health] カラム	ネットワークアダプタの全体的な正常性ステータス。
[スロット（Slot）] カラム	ネットワーク アダプタが装着されているスロット。
[Uplink Port] カラム	ネットワーク アップリンクに使用されるポート ID。
[Vendor] カラム	ネットワーク アダプタのベンダー。

名前	説明
[リンクステータス（Status）] カラム	ネットワーク アダプタとネットワーク メディア間の物理接続の現在の状態を示します。
[MAC Address] カラム	ネットワーク アダプタの MAC アドレス。

グラフィックスの詳細の表示

[グラフィックス（Graphics）] タブには、サーバーに取り付けられているグラフィック処理ユニット（GPU）カードの詳細が表示されます。

手順

ステップ 1 **[シャーシ（Chassis）]** > **[インベントリ（Inventory）]**に移動します。

ステップ 2 **[グラフィックス（Graphics）]** タブを選択します。
次の情報が表示されます。

名前	説明
[Name] カラム	GPU カードの名前。
[スロット（Slot）] カラム	GPU カードが取り付けられているスロット。
[Vendor] カラム	GPU カードのベンダー。
[Serial Number] カラム	GPU カードのシリアル番号

ストレージの詳細の表示

[ストレージ（Storage）] タブには、各ストレージ コントローラと関連するドライブの詳細が表示されます。

手順

ステップ 1 **[シャーシ（Chassis）]** > **[インベントリ（Inventory）]**に移動します。

ステップ 2 **[ストレージ（Storage）]** タブを選択します。
次の情報が表示されます。

表 *4*:ストレージ コントローラとドライブ

名前	説明
物理ドライブアイコン	ストレージコントローラが制御している物理ドライブの数を表示します。
仮想ドライブアイコン	ストレージコントローラが制御している仮想ドライブの数を表示します。
[ヘルス（Health）]	ストレージ コントローラの正常性を表示します。
スロット	ストレージ コントローラが取り付けられているスロット。
Firmware Version	ストレージ コントローラで実行されている現在のファームウェア バージョン。
シリアル番号	ストレージ コントローラのシリアル番号。
Battery Backup Unit	予期しない電力損失が発生した場合に、ストレージコントローラのキャッシュ メモリに提供されるバッテリ バックアップ。
ブートローダのバージョン	ストレージコントローラの起動プロセスを開始するファームウェアのバージョン。
Physical Drives	
[Name] カラム	デバイスの名前。
[Vendor] カラム	ドライブのベンダー。
[Health] カラム	ドライブの全体的な正常性ステータス。
[プロトコル（Protocol）] カラム	ドライブとストレージコントローラの間で使用される標準の通信方式を示します。次のいずれかになります。 • SAS • SATA
[メディア タイプ（Media Type）] カラム	ドライブのタイプ。次のいずれかになります。 • HDD • SSD
[スロット（Slot）] カラム	ドライブが取り付けられているスロット。
[Model] カラム	ドライブのモデル番号。

名前	説明
[Serial Number] カラム	ドライブのシリアル番号。
[Capacity (GiB) (容量 (GiB))] カラム	ドライブのキャパシティ（ギビバイト単位）。
[キャパシティ（Capacity）] カラム	ドライブのキャパシティ（バイト単位）。
[State] カラム	ドライブの構成状態。
[Revision] カラム	ドライブにインストールされている現在のファームウェア バージョン。
[ブロック サイズ（バイト）（Block Size（Bytes））] カラム	1 回の操作で読み取りまたは書き込みできるデータ量（バイト単位）。
[対応速度（Gb/s）（Capable Speed（Gb/s））] カラム	ドライブのデータ転送速度（ギガビット/秒）。
[動作温度（°C）（Operating Temperature（°C））] カラム	選択したドライブが、それを選択した時点で動作していた温度。
[予測障害回数（Predictive Failure Counts）] カラム	ドライブで障害が発生した可能性があることをコントローラが予測した回数。
[メディアエラー数（Media Error Counts）] カラム	ドライブが最初に取り付けられた時点、またはホストが再起動された時点から発生したメディアエラーの数。
[強制サイズ（GiB）（Coerced Size（GiB））] カラム	強制的なサイズ変換処理の実行後の容量（ギビバイト 単位）。
[非強制サイズ（GiB）（Non Coerced Size（GiB））] カラム	強制のために失われた領域を含む元の容量（ギビバイト単位）。
[強制サイズ（バイト）（Coerced Size（Bytes））] カラム	強制的なサイズ変換処理の実行後の容量（バイト単位）。
非[強制サイズ（バイト）（Non Coerced Size（Bytes））] カラム	強制のために失われた領域を含む元の容量（バイト単位）。
[ロケーション タイプ（Location Type）] カラム	ドライブをマザーボードに接続する接続方式。
[暗号化機能（Encryption Ability）] カラム	ドライブが、外部の攻撃者がデータを読み取れないようにするための、データ暗号化をサポートしているかどうかを定義します。
[サービス ラベル（Service Label）] カラム	ドライブのサービス ラベル番号。
仮想ドライブ	

名前	説明
[Name] カラム	デバイスの名前。
[State] カラム	ドライブの構成状態。
[ブート可能（Bootable）] カラム	起動可能ドライブかどうかを定義します。
[RAID タイプ（RAID Type）] カラム	適用される RAID 構成のタイプ。
[ストリップ サイズ（Strip Size）] カラム	RAID コントローラが同時に書き込むデータ セグメントのサイズ。
[Capacity (GiB) (容量 (GiB))] カラム	ドライブのキャパシティ（ギビバイト単位）。
[キャパシティ（Capacity）] カラム	ドライブのキャパシティ（バイト単位）。
[ボリューム IO ポリシー（Volume IO Policy）] カラム	ホスト オペレーティング システムで仮想ドライブへのアクセスに使用できる方法。次のいずれかになります。 • [Blocked]：ホストはドライブにアクセスできません。 • [Read-Write]：ホストはドライブにフル アクセスできます。 • [Read-Only]：ホストはドライブからデータの読み取りだけを行うことができます。
[ボリューム先読みポリシー（Volume Read Ahead Policy）] カラム	コントローラによる先行読み出し機能の使用方法を指定します。次のいずれかになります。 • **[適応（Adaptive）]**：コントローラが、先行読み出しによりパフォーマンスが向上すると判断したときに、先行読み出しを有効にし、使用します。 • [Always]：先行読み出しがイネーブルで、常に使用されます。 • [なし（None）]：先行読み出しがディセーブルです。

名前	説明
[ボリューム ドライブ キャッシュ ポリシー（Volume Drive Cache Policy）] カラム	コントローラによるディスク キャッシングの処理方法を指定します。次のいずれかになります。 • **[無効（Disable）]**：キャッシングはドライブで無効です。 • **[有効（Enable）]**：キャッシングはドライブで有効です。 • **[変更なし（Unchanged）]**：ドライブに指定されているキャッシング ポリシーがコントローラによって使用されます。
[構成済み書き込みキャッシュ ポリシー（Configured Write Cache Policy）] カラム	現在実行中のキャッシュ ポリシー。次のいずれかになります。 • **[ライト スルー（Write Through）]**：データはキャッシュと物理ドライブの両方に書き込まれます。データがドライブに書き込まれるまでは、トランザクションは完了としてマークされません。 • **[ライト バック（Write Back）]**：書き込まれたデータはキャッシュに格納され、帯域幅が使用できるようになると物理ドライブに書き込まれます。このポリシーでは **[ライト スルー（Write Through）]** モードよりも書き込みのパフォーマンスが向上しますが、BBU に欠陥がある場合、または BBU の学習サイクルが進行中の場合は、**[ライト スルー（Write Through）]** モードに戻ります。 • **[不良 BBU でもライト バックを維持（Write Back Even If Bad BBU）]**：BBU が不良であっても、キャッシングは [ライトバック（Write Back）] モードに維持されます。電源障害が発生した場合、このモードではデータが失われる可能性があります。

（注）
[すべて展開（Expand All）] ボタンを使用すると、すべてのストレージ コントローラと関連するドライブを展開ビューで表示できます。**[すべて折りたたむ（Collapse All）]** ボタンを使用すると、ストレージ コントローラのリストを表示できます。

（注）

カラムの項目は、物理ドライブのタイプによって異なる場合があります。

電源の詳細の表示

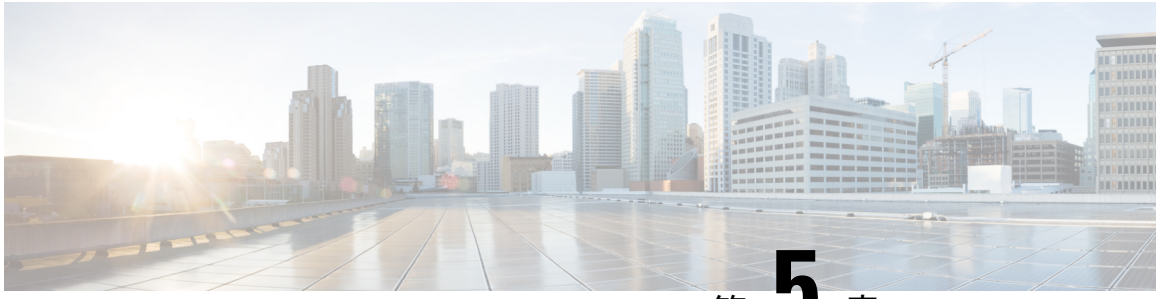
[電源（Power Supply）] タブには、サーバーに取り付けられている電源ユニット（PSU）の詳細が表示されます。

手順

ステップ 1 **[シャーシ（Chassis）]** > **[インベントリ（Inventory）]**に移動します。

ステップ 2 **[電源（Power Supply）]** タブを選択します。
次の情報が表示されます。

名前	説明
[Name] カラム	PSU の名前。
[Health] カラム	PSU の全体的な正常性ステータス。
[Serial Number] カラム	PSU のシリアル番号。
[PID] カラム	PSU の Cisco PID。
[電源入力（ワット）（Power Input（Watts））] カラム	PSU の入力電力（ワット単位）。
[電源出力（ワット）（Power Output（Watts））] カラム	PSU によって供給される最大出力電力（ワット単位）。



第 5 章

サーバーの診断方法

Cisco UCS SDU を使用すると、サーバーのさまざまなコンポーネントで診断テストを実行して、正常性ステータスを確認し、問題が発生した場合に是正措置を講じることができます。

次の方法で、サーバーの診断を実行できます。

- クイック テスト
- 包括的テスト

この章は、次の内容で構成されています。

- クイック診断テストの実行 （27 ページ）
- 総合診断テストの実行 （30 ページ）

クイック診断テストの実行

限られたサイクルで実行される限られた数の診断テストのみを実行する場合は、**[クイック診断テスト（Quick Diagnostic Test）]** を選択できます。通常、これらのテストは完了するまでに約 60 分かかります。

手順

ステップ 1 **[診断（Diagnostics）]** > **[テスト（Tests）]**に移動します。

ステップ 2 **[クイック（Quick）]** タブを選択します。
次の情報が表示されます。

名前	説明
[カテゴリ（Category）] 列	このテストが対象とするサーバー コンポーネント。
[コンポーネント ID（Component Id）] 列	コンポーネントの一意の ID。
[component] 列	コンポーネントの名前。

名前	説明
[診断テスト（Diagnostic Test）] 列	テストの名前。テストをクリックすると、次の詳細を表示できます。 • テスト名 • テストタイプ • コンポーネント ID • コンポーネント • カテゴリ • 説明 • パラメータのカスタマイズ **パラメータの編集** **[パラメータのカスタマイズ（Customize Parameters）]** エリアでパラメータの値を編集するには、必須フィールドの値を更新し、**[保存（Save）]** をクリックします。 （注） デフォルトの値に戻すには、**[リセット（Reset）]** をクリックします。 **テストの実行** テストを手動で実行するには、**[詳細（Details）]** 画面で **[このテストを実行（Run this Test）]** をクリックします。
[Description] カラム	テストの目的を説明しています。

名前	説明
[パラメータ（Parameters）] 列	テストで使用されるパラメータ。パラメータを編集するには、パラメータにマウスを合わせて **[編集（Edit）]** をクリックし、必要なフィールドの値を更新して、**[保存（Save）]** をクリックします。 （注） デフォルトの値に戻すには、**[リセット（Reset）]** をクリックします。 次に、編集可能なさまざまなコンポーネントのパラメータを示します: • CPU：継続時間 • グラフィックス：継続時間、繰り返し • メモリ：サイズ、繰り返し • NUMA：継続時間 • ストレージ：継続時間
[クイック診断（Quick Diagnostics）] ボタン	リストされているすべてのコンポーネントのクイック診断テストを実行します。**[診断開始（Start Diagnostics）]** ボタンをクリックして続行します。
[選択した診断の実行（Run Selected Diagnostics）] ボタン	このボタンは、リストから 1 つ以上のコンポーネントを選択すると表示されます。**[診断開始（Start Diagnostics）]** ボタンをクリックして続行します。

ステップ 3 次のいずれかの手順を使用して、 **クイック診断テスト** を実行します。

a) **すべてのコンポーネント**：リストされているすべてのコンポーネントの診断テストを実行する場合は、**[クイック診断（Quick Diagnostics）]** ボタンをクリックします。**[クイック診断の実行（Run Quick Diagnostics）]** ダイアログボックスで、**[診断の開始（Start Diagnostics）]** をクリックします。

b) **選択したコンポーネント**：選択したコンポーネントの診断テストを実行する場合は、リストから各コンポーネントのチェックボックスをオンにし、**[選択した診断の実行（Run Selected Diagnostics）]** ボタンをクリックします。**[選択したクイック テストの実行（Run Selected Quick Tests）]** ダイアログボックスで、**[診断の開始（Start Diagnostics）]** をクリックします。

c) **特定の診断テスト**：コンポーネントに固有の診断テストを直接実行する場合は、**[診断テスト（Diagnostic Test）]** 列でテスト名をダブルクリックし、**[このテストを実行（Run this Test）]** ボタンをクリックします。

上記のすべての手順で、タスクがトリガーされると、次のメッセージが表示されます。

- Diagnostics initiated successfully（診断は正常に開始されました）

（注）
[グラフィックス（Graphics）]のテストを開始すると、さまざまな形状の赤色のピクセルが確認できます。

診断テストを開始した後、**[表示（View）]** ボタンをクリックすると、タスクの実行ステータスを確認できます。ステータスは**[サマリー（Summary）]**ページに表示されます。詳細については、診断タスクの詳細の表示を参照してください。

総合診断テストの実行

拡張サイクルで実行される、診断テストの総合リストを実行する場合は、**[総合診断テスト（Comprehsive Diagnostic Test）]** を選択できます。通常、これらのテストで、すべてのサーバー コンポーネントの診断が完了するまでには 240 分以上かかります。

手順

ステップ 1 **[診断（Diagnostics）]** > **[テスト（Tests）]**に移動します。

ステップ 2 **[総合（Comprehsive）]** タブを選択します。
次の情報が表示されます。

名前	説明
[カテゴリ（Category）] 列	このテストが対象とするサーバー コンポーネント。
[コンポーネント ID（Component Id）] 列	コンポーネントの一意の ID。
[component] 列	コンポーネントの名前。

名前	説明
[診断テスト（Diagnostic Test）] 列	テストの名前。テストをクリックすると、次の詳細を表示できます。 • テスト名 • テストタイプ • コンポーネント ID • コンポーネント • カテゴリ • 説明 • パラメータのカスタマイズ **パラメータの編集** **[パラメータのカスタマイズ（Customize Parameters）]** エリアでパラメータの値を編集するには、必須フィールドの値を更新し、**[保存（Save）]** をクリックします。 （注） デフォルトの値に戻すには、**[リセット（Reset）]** をクリックします。 **テストの実行** テストを手動で実行するには、**[詳細（Details）]** 画面で **[このテストを実行（Run this Test）]** をクリックします。
[Description] カラム	テストの目的を説明しています。

名前	説明
[パラメータ（Parameters）] 列	テストで使用されるパラメータ。パラメータを編集するには、パラメータにマウスを合わせて **[編集（Edit）]** をクリックし、必要なフィールドの値を更新して、**[保存（Save）]** をクリックします。 （注） デフォルトの値に戻すには、**[リセット（Reset）]** をクリックします。 次に、編集可能なさまざまなコンポーネントのパラメータを示します: • CPU：継続時間 • グラフィックス：継続時間、繰り返し • メモリ：サイズ、繰り返し • NUMA：継続時間 • ストレージ：継続時間
[総合診断（Comprehensive Diagnostics）] ボタン	すべてのコンポーネントに対して総合的な診断テストを実行します。**[診断開始（Start Diagnostics）]** ボタンをクリックして続行します。
[選択した診断の実行（Run Selected Diagnostics）] ボタン	このボタンは、リストから 1 つ以上のコンポーネントを選択すると表示されます。**[診断開始（Start Diagnostics）]** ボタンをクリックして続行します。

ステップ 3 次のいずれかの手順を使用して、**総合診断テスト**を実行します。

a) **すべてのコンポーネント**：リストされているすべてのコンポーネントの診断テストを実行する場合は、**[総合診断（Comprehsive Diagnostics）]** ボタンをクリックします。**[総合診断の実行（Run Comprehsive Diagnostics）]** ダイアログボックスで、**[診断の開始（Start Diagnostics）]** をクリックします。

b) **選択したコンポーネント**：選択したコンポーネントの診断テストを実行する場合は、リストから各コンポーネントのチェックボックスをオンにし、**[選択した診断の実行（Run Selected Diagnostics）]** ボタンをクリックします。**[選択した総合テストの実行（Run Selected Comprehsive Tests）]** ダイアログボックスで、**[診断の開始（Start Diagnostics）]** をクリックします。

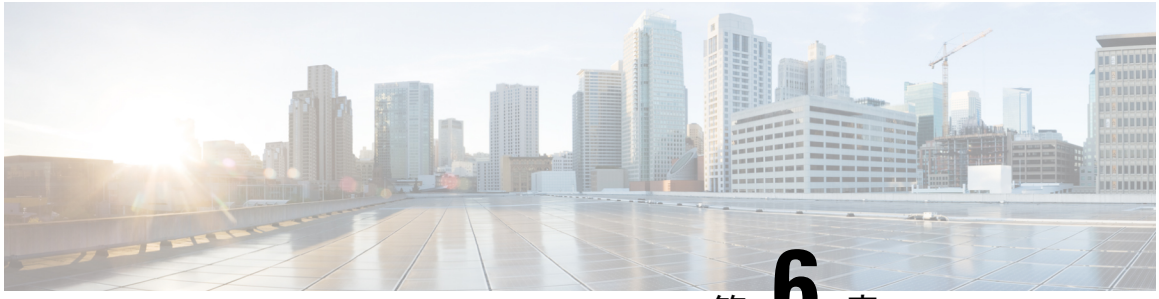
c) **特定の診断テスト**：コンポーネントに固有の診断テストを直接実行する場合は、**[診断テスト（Diagnostic Test）]** 列でテスト名をダブルクリックし、**[このテストを実行（Run this Test）]** ボタンをクリックします。

上記のすべての手順で、タスクがトリガーされると、次のメッセージが表示されます。

• Diagnostics initiated successfully（診断は正常に開始されました）

（注）
グラフィックスのテストを開始すると、さまざまな形状の赤色のピクセルが確認できます。

重要
診断テストを開始した後、**[表示（View）]** ボタンをクリックすると、タスクの実行ステータスを確認できます。ステータスは**[サマリー（Summary）]**ページに表示されます。詳細については、診断タスクの詳細の表示を参照してください。



第 6 章

診断タスクの詳細の表示

クイックテストと**総合**テストを実行すると、タスクがすぐに作成され、**[サマリー（Summary）]** ウィンドウに表示されます。

[サマリー（Summary）] ウィンドウには、さまざまな期間にトリガーされたタスクのリストに関する詳細が表示されます。

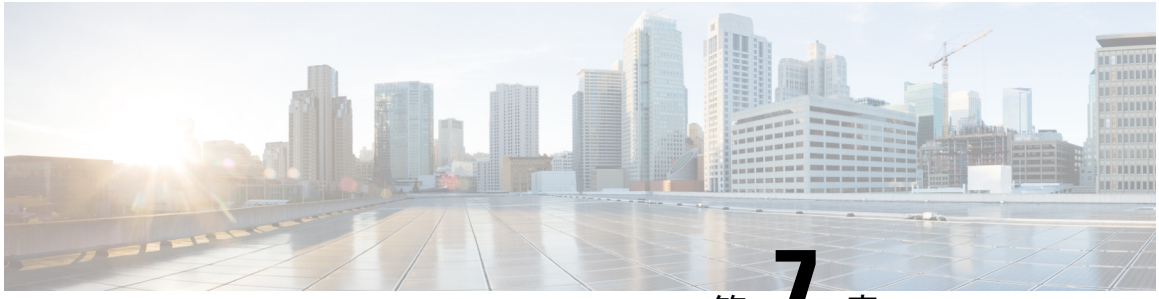
手順

[診断（Diagnostics）] > **[サマリー（Summary）]**に移動します。
次の情報が表示されます。

名前	説明
[タスク名（**Task Name**）**]** カラム	

名前	説明
	タスクの名前。診断テストを実行すると、対応するタスク名が **[タスク名（Task Name）]** カラムに表示されます。 タスク名をクリックすると、タスクの**詳細**と**実行フロー**が表示されます。**[解決方法（Resolutions）]** タブには、問題が発生した場合に実行する必要がある推奨アクションが表示されます。 **[詳細（Detail）]** 領域には、次の情報が表示されます。 • 状態 • ステータス • タスク ID • 名前 • [時間（Duration）] • 開始時刻 • 終了時刻 **[実行フロー（Excetution Flow）]** 領域には、次の情報が表示されます。 • テストの名前 • テストの長さ • テストが属するコンポーネント カテゴリ（CPU など） • タスクの実行結果（例：成功など） テスト名に関連付けられている **[追加（Add）]** アイコンをクリックすると、次のいずれかのステージがタイムスタンプとともに表示されます。 （注） 次に例を示します。実際のステージは、選択したコンポーネントによって異なります。 **合格:** • 診断テストがキューに入れられています • 診断が進行中です • テストに合格しました **失敗:** • 診断テストがキューに入れられています

名前	説明
	• 診断が進行中です • テストに失敗しました
[State] カラム	更新タスクの現在の状態を定義します。次のいずれかになります。 • 実行中 • 完了 • 失敗 • キャンセル済み
[Status] カラム	テストの現在のステータス。次のいずれかになります。 • Ok • 完了
[開始時間（Start Time）] カラム	テスト開始時刻（MMM dd, yyyy HH:mm:ssフォーマット）。
[長さ（Duration）] カラム	テストの長さ（秒単位）。
[終了時間（End Time）] カラム	テスト終了時刻（MMM dd, yyyy HH:mm:ssフォーマット）。
[解決方法（Resolutions ）] カラム	タスクの失敗の原因となった問題を解決するための推奨アクションを表示します。



第 7 章

ログ

• システム イベント ログの表示 （39 ページ）

システム イベント ログの表示

Cisco UCS SDU は、さまざまなイベントのログ情報をキャプチャします。これをテクニカル サポートデータとして使用し、Cisco TAC と共有して詳細分析を行うことができます。

手順

[ログ（Logs）] > **[システム イベント ログ（System Event Logs）]**に移動します。
[システムイベントログ（System Event Logs）] ページには、次の情報が表示されます：

表 *5:* システム イベント ログ

名前	説明
[ID] カラム	イベントのシリアル番号。
[Time] カラム	イベントが発生した時刻。時刻のフォーマットは、Mon-DD-YYYY HH:MM:SS です。

名前	説明
[Severity] カラム	Cisco UCS SDU に対するプロセスの潜在的な影響を示すシビラティ コードを表示します。 • 標準 • クリティカル • 情報 • Warning 特定のシビラティに関連するイベントの数は、**[システム イベント ログ（System Events Logs）]** ページに表示されます。
[イベント タイプ（Event Type）] カラム	イベントのタイプ。次のいずれかになります。 • エンティティの存在 • システムイベント • システム ファームウェアの経過表示 • プラットフォーム アラート • 物理セキュリティ • ドライブ スロット • 電源モジュール • イベント ロギングが無効
[イベント名（Event Nane）] カラム	イベントの名前。
[イベントの詳細（Event Details）] カラム	コンポーネントまたはプロセスで発生したインシデントに関する情報を表示します。
[SEL のクリア（Clear SEL）] ボタン	クリックすると、イベントログが完全にクリアされます。

翻訳について
このドキュメントは、米国シスコ発行ドキュメントの参考和訳です。リンク情報につきましては、日本語版掲載時点で、英語版にアップデートがあり、リンク先のページが移動/変更されている場合がありますことをご了承ください。あくまでも参考和訳となりますので、正式な内容については米国サイトのドキュメントを参照ください。